

【分配金のお知らせ】

2017年1月17日

野村アセットマネジメント株式会社

「ハイブリッド・インカムオープン」 2017年1月16日決算の分配金および投資環境について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「ハイブリッド・インカムオープン」(以下、ファンド)の2017年1月16日決算の分配金についてご案内いたします。

今回の決算において、市場動向ならびに基準価額水準を勘案し、分配金を引き下げることいたしました。

1 万口当たり 30 円(課税前)(前回は 50 円)

【分配の方針】

原則、毎年1月、3月、5月、7月、9月および11月の15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。

分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行いません。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。

分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

【分配金引下げの背景】

今回の決算におきましては、分配金支払いの継続や運用資産の健全性維持および信託財産の着実な成長を目指すべく、分配金を前回決算時の50円から30円に引き下げました。なお、ファンドの最終利回り[※]は2016年12月末現在3.3%でした。

※ファンドの最終利回りは、ファンドの組入債券等(現金を含む)の最終利回りを、その組入比率で加重平均したもの(現地通貨建)。

《ファンド設定来の基準価額の推移》

期間:2004年6月23日(設定日)~2017年1月16日、日次



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

—— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 ——

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【足元の投資環境について】

各市場における投資環境は以下のとおりです。

高格付債券市場

米国では、2016年11月に米大統領選でトランプ氏が勝利したことや、2016年12月にFRB(米連邦準備制度理事会)が政策金利の引き上げを行なったことを受けて、拡張的な財政政策による景気拡大やインフレ率上昇が意識されたことなどから、債券価格は下落(利回りは上昇)しました。

欧州では、ECB(欧州中央銀行)が国債買い入れを含む大規模な量的緩和策を継続していることが債券市場を下支えしましたが、米国の債券価格の下落につれて、ドイツの債券価格も下落しました。

米国ハイ・イールド債券市場

米国ハイ・イールド債券市場は、EU(欧州連合)離脱をめぐる英国の国民投票や米大統領選の際に下落する局面もありましたが、発表された米国経済指標や企業決算などが概ね好調だったことを背景として、米国の経済成長に対する楽観的な見方が強まったこと、および原油価格が安定的に推移したことやOPEC(石油輸出国機構)の減産合意などを受けて堅調に推移しました。

為替市場

米大統領選を受けて日米金利差が拡大したことなどを背景に円は米ドルに対して下落しました(円安米ドル高)。米国における金利上昇につれて、欧州の金利についても先高感が広がったことなどから、円はユーロに対しても下落しました(円安ユーロ高)。

【今後の市場見通しと運用方針について】

高格付債券市場

米国では、個人消費など内需を中心に景気回復が継続していることやインフレ率の上昇が見られていることから、FRBによる継続的な金融引き締めを見込んでおり、債券利回りには上昇圧力がかかりやすいと予想します。

欧州では、景気は緩やかながらも回復が見込まれ、ECBによる金融緩和姿勢が後退していくことで、債券利回りには上昇圧力がかかると予想します。

今後の運用方針としては、ファンド全体のデュレーションは短めとし、地域別では、米国と欧州を短めとします。為替について、米ドルをオーバーウェイト、欧州通貨と米ドル圏周辺通貨をアンダーウェイトとします。

米国ハイ・イールド債券市場

米国ハイ・イールド債券市場は、米国経済の拡大や安定した企業業績を背景に当面は堅調に推移すると考えられます。デフォルト(債務不履行)率は、エネルギー関連企業が財務改善のための資本政策を実施したことなどを背景に、今後は低下すると予想しています。また、トランプ氏が米大統領選挙で当選したことを受けて、同氏の主張するインフラ投資増加と大規模減税といった政策が、財政赤字拡大やインフレを招くと考えられ、長期金利が上昇しました。今後具体化していく政策内容を市場がどう捉えるかについては注視していきます。

今後の運用方針としては、個別発行体の信用力を調査・分析するボトムアップ・アプローチに基づいて運用を行なっていきます。また、ハイ・イールド債券が持つ価格下落リスクをできる限り回避しながら、高水準のインカム(利息)収入やキャピタル・ゲイン(値上がり益)の獲得を目指す方針です。

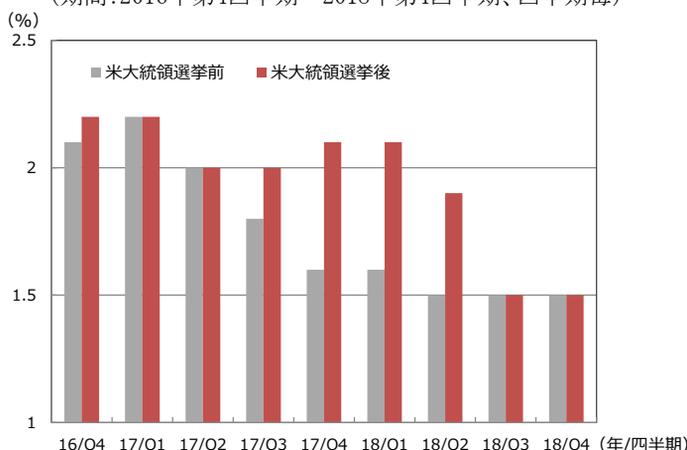
個別銘柄の選択には、より一層慎重に対応していきますが、今後もキャッシュフロー(現金収支)が安定的な企業や良好な収益見通しが期待できる企業を中心に投資を行なう方針です。

【ご参考】トランプ次期大統領の政策



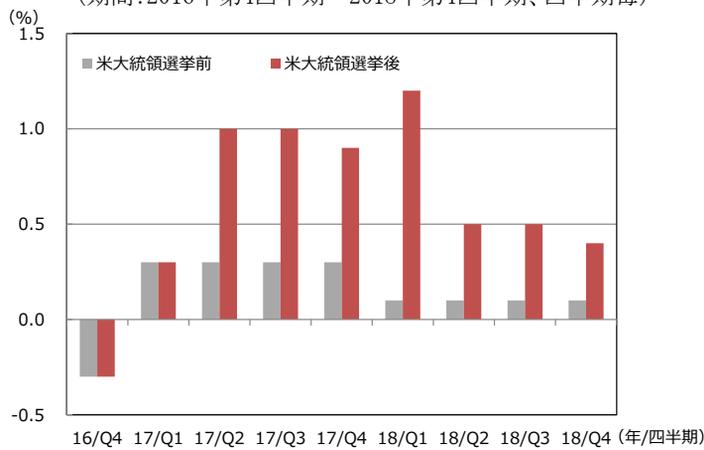
《米国政府支出の伸び率の予想(前期比/年率)》

(期間:2016年第4四半期~2018年第4四半期、四半期毎)



《米国個人消費の伸び率の予想(前期比/年率)》

(期間:2016年第4四半期~2018年第4四半期、四半期毎)



野村証券の予想、2016年11月22日時点。

(出所)野村証券株式会社の情報に基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

ファンドにおける高格付債とハイ・イールド・ボンドへの投資配分は、効率的な資産配分を考慮し、引き続き50%:50%を目標とする方針です。

ポートフォリオの約半分を高格付債に投資することで信用リスクを抑えつつ、堅調な米国の企業業績に伴い良好なパフォーマンスが期待されるハイ・イールド・ボンドに投資をすることにより、高水準の利息収入および売買益の獲得を目指します。

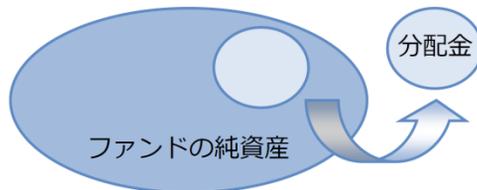
今後とも「ハイブリッド・インカムオープン」をご愛顧賜りますようお願いいたします。

以上

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

分配金に関する留意点

●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



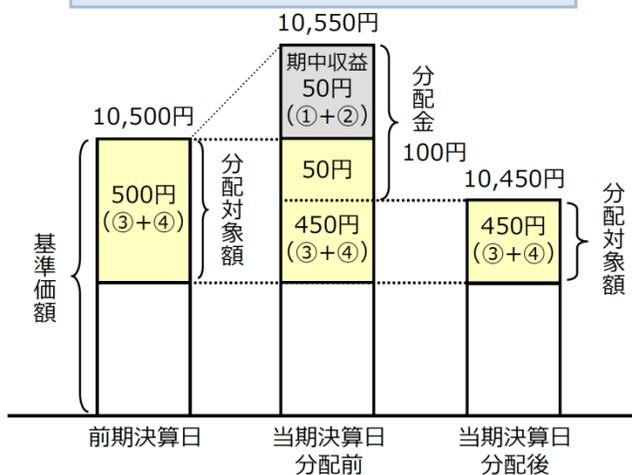
●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

・計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

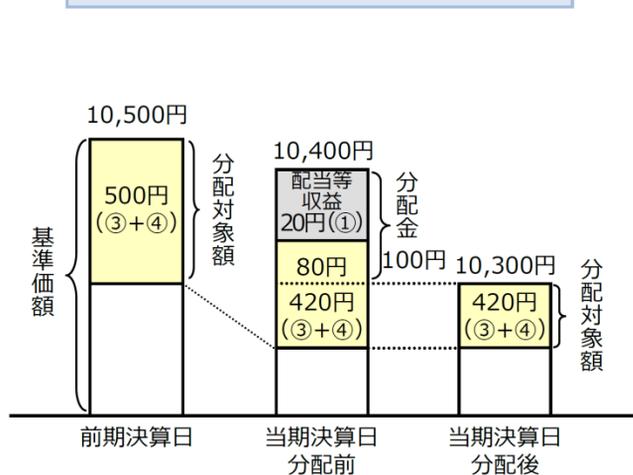
※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

前期決算から基準価額が上昇した場合

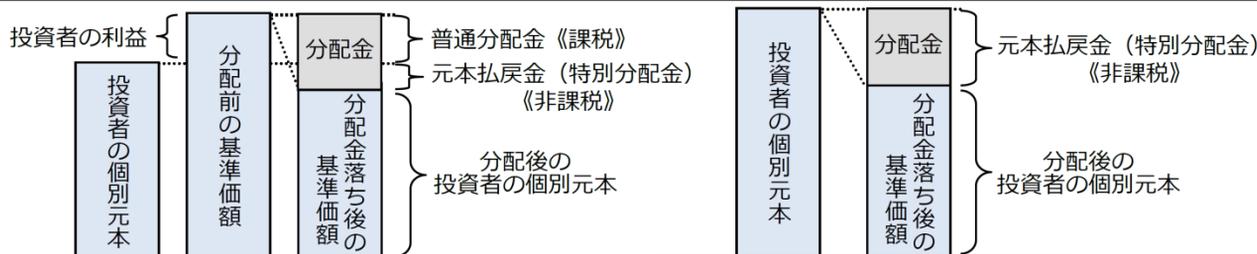


前期決算から基準価額が下落した場合



●投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

- ◇普通分配金 … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金（特別分配金） … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。



※投資者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します（また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。）ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を目標として積極的な運用を行ないます。
- 日本を除く世界の高格付けの債券(高格付債)および米国の高利回りの事業債(ハイ・イールド・ボンド)を実質的な主要投資対象^{*}とします。
※「実質的な主要投資対象」とは、「海外アクティブ債券マザーファンド」、「ハイ・イールド ボンド オープンマザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 高格付債とハイ・イールド・ボンドへの資産配分は50%:50%程度を基本とし、分散投資効果により信用リスクを抑えつつ、高水準の利息収入および売買益の獲得を目指します。
- 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。
- シティ世界国債インデックス(除く日本)およびBofA・メリルリンチ・USハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-B レイティド・コンストレインド・インデックスを野村アセットマネジメントが独自に円換算し、各々を50:50の割合で合成した指数(円ベース)をベンチマークとします。
- 高格付債への投資にあたっては、ソブリン債(日本を除く世界先進主要国^{*}が発行する国債・政府保証債)を中心とした債券に投資することを基本とします。

※シティ世界国債インデックス(除く日本)の採用国とします。

- ハイ・イールド・ボンドへの投資にあたっては、業種分類を考慮した分散投資と企業調査を重視した銘柄選定を基本とします。
- ファンドは「海外アクティブ債券マザーファンド」、「ハイ・イールド ボンド オープンマザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「海外アクティブ債券マザーファンド」の運用にあたっては、ノムラ・アセット・マネジメントU.K.リミテッドに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
- 「ハイ・イールド ボンド オープンマザーファンド」の運用にあたっては、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネージメント・インク(NGRAM社)に、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
- 原則、毎年1月、3月、5月、7月、9月および11月の15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。
 分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行ないます。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。

* 委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

【投資リスク】

ファンドは、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 無期限(平成16年6月23日設定)
- 決算日および収益分配 年6回の決算時(原則1月、3月、5月、7月、9月および11月の15日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 一般コース:1万円以上1万円単位(当初元本1口=1円)
 または1万円以上1円単位
 自動けいぞく投資コース:1万円以上1円単位
※お取扱コース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2017年1月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.35%(税抜年1.25%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時)	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に依りて異なりますので、表示することができません。
 ※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員
 一般社団法人日本投資顧問業協会会員

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎0120-753104

(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時



★インターネットホームページ★

<http://www.nomura-am.co.jp/>



★携帯サイト★

<http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等を実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

ハイブリッド・インカムオープン

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○		○	
株式会社北日本銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第14号	○			
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。